

# 令和元年度 自己評価書

学校名	和歌山市立 小倉小学校
校長氏名	嶋田 裕子
作成日	令和 元年 2月 25日

## 1 教育目標

豊かな心情を持ち、よく考え、健康で決まりある行動のできる子を育てる

【めざす児童像】

・豊かな心を持ち、みんなで仲良くする子    ・進んで学び、よく考える子    ・心身ともに健康で、生き生きした子

## 2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	全国学力調査・県学習到達度調査において、県平均を上回る。	学校が楽しいと感じる。 (児童90%)	積極的に運動を行える環境を整え、実践する。 (教師90%)	学校の情報発信についての保護者評価(90%)
重点目標 【P】	確かな学力の向上 ◎基礎学力の充実 ・言葉の力の育成 ・教員の授業力向上	豊かな心の育成 ◎挨拶のできる子の育成 ・道德教育の充実 ・障がい者、高齢者との交流活動の推進	健やかな体の育成 ◎運動健やかに親しむ習慣づくり ・食育の推進 ・保健教育の充実 ・危機回避能力の育成	地域とともにある学校 ◎学校開放の推進 ・地域行事への参加協力 ・地域先達等ボランティア
取組の状況 【D】	・国語科の授業研究を糸口に授業力の向上を図った。 ・音読、暗唱、試写などの活動を取り入れ、言葉の力の育成を図った。 ・スキルアップ、フォローアップを有効活用した。	・あいさつをはじめとする基本的生活習慣を大切にされた。 ・障がい者、高齢者施設との交流活動を実施した。 ・読書習慣の定着のため、読み聞かせやブックトークを採り入れた。	・運動に親しむため、縄跳び補助板や一輪車などを設置した。 ・栄養士による学年に応じた食育授業を実施した。 ・保健室からの情報発信を計画的に実施した。	・児童の登下校の見守り、子どもセンター事業、米作りや工場見学、昔遊び、読み聞かせボランティア、小倉まつり等で、地域の方々との交流を深められた。
取組の成果と課題 (評価) 【C】	・真面目な取り組みが実を結ぶように、効率的な学習方法にも目を向ける必要がある。	・学校が楽しいと感じている児童が90%以上を占めているが、いじめアンケートなどの結果等を受けて、人とのかわり方を通して心の育成に努めたい。	・教職員の危機対応はできていたと思うが、予期せぬ児童のけがに対して、意識を高める必要性を感じた。	・米作りから始まって茶碗づくりやお米パーティまで、一連の体験をさせていただくことができた。
改善方法 (次年度に向けて) 【A】	・引き続き、国語科の授業研究を中心に若手教員の授業力の向上を図る。 ・スキルアップ、フォローアップの教材準備を工夫する。	・あいさつや掃除など、教職員が児童とともに活動する中で、心の育成に努める。	・体育の授業以外でも、運動に親しむための工夫を考える。(ポッチャなど誰でも取り組めるスポーツなど)	・地域先達ボランティアの方々に協力していただく内容を、全学年に広げる。

## 3 その他の課題